

# 児童生徒の携帯電話利用実態等に関する調査結果【概要】

平成21年2月23日  
香川県教育委員会

## 1 調査内容・方法

### (1) 調査対象

#### ① 公立小学校（抽出） 21校

小学2年1,365人、小学4年1,368人、小学6年1,307人

男子2,086人、女子1,954人、計4,040人

※県内の小学校から約10%を抽出し、2, 4, 6年生を対象に、各学年それぞれ1もしくは2学級を調査

#### 公立中学校（抽出） 7校

中学1年457人、中学2年477人 男子463人、女子471人、計934人

※県内の中学校から約10%を抽出し、1, 2年生を対象に、各学年それぞれ1もしくは2学級を調査

#### 県立高等学校（抽出） 31校

高校1年310人、高校2年310人 男子328人、女子292人、計620人

※県立高等学校31校の1, 2年生を対象に、各学年それぞれ10名を抽出して調査

#### ② 保護者 調査対象である児童生徒の保護者

小学6年1,248人、中学2年388人

高校1年153人、高校2年153人 計1,942人

### (2) 調査内容及び調査結果

#### ① 小・中・高等学校児童生徒

・ 小・中・高等学校校種別児童生徒対象集計結果……………別添資料1

・ 小・中・高等学校学年別児童生徒対象集計結果……………別添資料2

#### ② 保護者

・ 小・中・高等学校保護者対象集計結果……………別添資料3

### (3) 調査時期

平成21年1月19日時点の状況を調査

## 2 結果概要

### (1) 児童生徒の携帯電話の利用実態

※ 質問番号は別添資料1及び2のアンケート調査結果と対応する。

※ 携帯電話の所持状況(質問番号1)には小学2年を含むが、①②の概要の小学生には、学年によって調査項目数が異なるため小学2年を含んでいない。

#### ○ 携帯電話の所持状況(質問番号1)

小学2年	小学4年	小学6年	中学1年	中学2年	高校1年	高校2年
12.7%	19.3%	22.1%	29.5%	40.9%	97.7%	98.4%
18.0%			35.3%		98.1%	

#### ① 携帯を所持している児童生徒に対する調査から

- よく使う携帯電話の機能は、小学生は通話が約71%、メールが約62%、中学生は通話が約52%、メールが約89%、高校生は通話が約47%、メールが約90%。  
(質問番号4)
- 携帯電話を使っている時間は、1日に3時間以上操作している小学生は約4%、中学生は約19%、高校生は約18%。  
(質問番号5)
- メールの送信状況は、1日31回以上メールを送信している中学生は約29%、高校生は約24%。その内、1日101回以上メールを送信している中学生は約6%、高校生は約4%。  
(質問番号6)
- メールの返信を3分以内に行うのは、小学生で約15%、中学生で約16%、高校生は約8%。  
(質問番号10)
- 掲示板・サイト等の利用状況では、高校生は、プロフを利用している割合が最も高く約54%。  
(質問番号11)
- 携帯電話で嫌な経験をしたことがある中学生は約20%、高校生は約22%。  
(質問番号12)
- 掲示板やブログなどに自分の知り合いの「悪口などいやなこと」が書かれているのを、見たことがあるのは、中学生で約21%、高校生で約27%。  
(質問番号14)
- 掲示板やブログなどに書き込まれた悪口を削除できることを知らない中学生が約52%、高校生が約41%。  
(質問番号15)
- フィルタリングサービスを知っていて利用していない、高校生は約55%。  
(質問番号16)
- 携帯電話の使用に関するルールについての家族での約束は、小学生では知らない人からのメールに送信しないが約50%で、中学生の約51%、高校生の約42%が使用料金。  
(質問番号17)
- 毎月の携帯電話の使用料は、高校生では5000円以上が約78%。  
(質問番号19)

#### ② 全員の児童生徒に対する調査から

- 掲示板は誰もが見ることができることを知らない小学生は約66%、中学生は約47%。  
(質問番号23)
- 人の嫌がることを書き込んだ場合、犯罪となる場合があることを知らない小学生は約33%、中学生は約28%、高校生は約13%。  
(質問番号24)

## (2) 児童生徒の携帯電話の依存度

- 携帯電話を所持している児童生徒の学年別依存度  
(依存度の考え方については(注)参照)

	小6	中1	中2	高1	高2
高位	7.2%	20.9%	16.9%	10.6%	11.8%
中位	28.9%	32.8%	33.8%	46.9%	41.0%
低位	63.9%	46.3%	49.2%	42.6%	47.2%

(注) 依存度については、「1日の携帯電話の使用時間」、「1日のメールの送信回数」、「メールの返信時間」の3つの観点を(参考)のとおり点数化して、合算し、以下により「高位層」「中位層」「低位層」に分類し、クロス集計を行った。

「依存度 高位層」 合計点 11～15点  
「依存度 中位層」 合計点 6～10点  
「依存度 低位層」 合計点 1～5点

(参考)

質問番号5 「1日の携帯電話の使用時間」

1点:「0分～5分」 2点:「5分～30分」 3点:「30分～1時間未満」  
4点:「1時間～3時間未満」 5点:「3時間以上」

質問番号6 「1日のメールの送信回数」

0点:「0回～10回」 1点:「11回～20回」 2点:「21回～30回」  
3点:「31回～50回」 4点:「51回～100回」 5点:「101回以上」

質問番号10 「メールの返信時間」

0点:「時間は気にしない」「その日のうちに」 1点:「1時間以内」  
2点:「30分以内」 3点:「10分以内」 4点:「5分以内」 5点:「3分以内」

## (3) 保護者による児童生徒の携帯電話の利用実態の把握状況

※ 質問番号は別添資料3のアンケート調査結果と対応する。

- ・ 保護者が子どもに携帯電話を持たせている主な理由は、通常または緊急の連絡が小学生で、約93%。  
保護者が防犯目的で携帯電話を持たせているのが小学生で、約46%。  
(質問番号2)
- ・ 子どもが所持している携帯電話にフィルタリングをしている小・中学生の保護者は約52～54%、高校生は約27～45%。  
(質問番号6)
- ・ フィルタリングを知らない小学生の保護者は、子どもに携帯電話を持たせていない場合約22%、子どもに携帯を持たせている場合は約16%。  
フィルタリングを知らない中学生の保護者は、子どもに携帯電話を持たせていない場合約23%、子どもに携帯を持たせている場合は約9%。  
(質問番号8)